

児童家庭支援センター

ファミリーステーションいなみえん通信

発行：社会福祉法人 伊奈美園

発行日：令和3年2月吉日【第27号】

食の緊急支援プロジェクトを実施して

～「ひとりじゃ、ない」 たすけあい、ささえあい、分かちあい～



里親支援専門相談員兼相談員： かみで ようこ 上出 洋子



コロナウイルス感染症感染拡大に伴い令和2年4月7日に全国7都府県に緊急事態宣言が発出されました。その後、4月16日に緊急事態措置を実施すべき区域に40道府県が追加され、当機関のある石川県も緊急事態措置を実施すべき区域となりました。県内でもいくつかのクラスターが発生し、4月中旬には当機関が支援する地域にも感染者が発生しました。学校休校、会議・研修等の中止などさまざまな措置が取られるなか、地域の子育て支援機関としてどのような体制で支援業務を行っていくかを決定することは容易ではありませんでした。前例のない事態、目に見えない感染症の脅威に優先度をつけることができませんでした。ひとり親家庭、虐待・DV家庭、貧困家庭、養育支援の必要な家庭など日頃から支援を行っている家庭が学校休校、保護者の雇用問題などからリスクが高まることが予想出来たからです。感染症対策を実施しての通所面談の時間短縮、希望者には対面相談から電話相談への切り替えなど苦肉の策を講じ、可能な限り支援者との繋がりを継続しましたが、さまざまなジレンマを抱えながら、毎年継続して行ってきた子育て講座 Nobody's Perfect の中止など一部の相談支援業務の縮小を余儀なくされました。

そのような状況の5月初旬に一通のメールが届きました。財界有志の方々が発起人となり、全国の児童家庭支援センターを通じて直接支援を必要とする親子に食糧支援を行う募金プロジェクトが立ち上げられ、プロジェクトに賛同し協力する児童家庭支援センターの募集の



第1弾にて 支援家庭にお米を渡す様子

お知らせでした。それはプロジェクトに賛同した方々が募金を行い、その募金を資金に地域で児童家庭支援を行う全国規模団体の児童家庭支援センターが直接支援を行う「子どもの食緊急支援プロジェクト」でした。

コロナ禍でさまざまな活動が足踏み状態のなか、プロジェクトが立ち上がったとの一報に胸に迫る思いがありました。当機関でも地域でなにか出来ることがあるはずとプロジェクトにエントリーしました。そしてそのプロジェクト

は6月～夏休み時期の第1弾、9月～10月の第2弾、11月～冬休み時期の第3弾と継続的に実施され、活動内容は各児童家庭支援センターごとで企画し実施するものでした。当機関では地域の子育て支援機関に協力要請を行いました。

第1弾として、加賀市子育て応援ステーションかがっこネットのご協力のもと、37世帯160名に各世帯の希望するお米、野菜、お菓子、ミルク、缶詰、飲料などの配布、家庭訪問を行いました。

第2弾として、加賀市NPO法人かもママが運営する子ども食堂「まんぷく食堂」へ食材購入費として寄付金を贈呈しました。

第3弾として、第1弾と同じく加賀市子育て応援ステーションかがっこネットの協力のもと51世帯95名の子どもたちにクリスマスプレゼントとしてクリスマスブーツの配布、家庭訪問を行いました。

第1弾～第3弾を通して多くの成果を実感しました。家庭訪問を行い、顔を合わせながら希望する食材を手渡し、過酷な状況も目の当たりにしましたが、多くの感謝の笑顔を見ることができました。クリスマスプレゼントを手渡した時には子どもたちのキラキラした笑顔を見ることが出来ました。活動を計画するなかで関係機関と打ち合わせを行い、お互いの機関の役割を理解し合い、連携や関係性が強化されたと思います。全国の児童家庭支援センターがこのプロジェクトでさまざまな支援方法を計画実施した報告を受け、地域の児童家庭支援機関として多くのことを学ぶことが出来ました。そして地域のコミュニティ構築などこれからの支援に繋がるものとなりました。このプロジェクトで日本全国の多くの家庭に支援が届いたこと、そして支援者同士が協力し合ったこと、目に見えなくても日本中に多く

の人と人、心と心の繋がりが広がりました。

新型コロナウイルス感染症は未だ終息のめどがたっており、先行きの見えない不安が続いています。他者との交流の減少、社会的混乱によって不安や悩みを多くの方が抱えていると思います。今回の”ひとりじゃない、たすけあい、ささえあい、わかちあい”、の経験を活かし、このコロナ禍においても地域の家庭支援を継続していきたいと思います。



第2弾にて 寄付金を渡す様子



第3弾にて クリスマスブーツを渡す様子



子どもの食緊急支援プロジェクトホームページ

<https://ff.1m-cl.com/s/>



コロナ禍におけるグループ オンライン親の会

心理主任： あさだ のぶみ 浅田 伸史

本紙でも何度か紹介させていただいてきたが、当機関では地域の不登校児童生徒や卒業生を持つ親の会に会場提供を含めてお手伝いをさせていただいている。同じ悩みを抱えた間柄ならではの本音で語り合える場は、ともに喜び、涙を流し、支えあう大事な空間になっていた。

ところが、ご存じの通りコロナウイルスの蔓延により昨年春から緊急事態宣言が発出され、当地でも次第に感染は他人事ではなくなっていく。当機関でも、限られた室内で集まって話をする「親の会」を通常通りに続けることは難しいと判断し、しばらくお休みすることになった。しかし、感染状況はなかなか落ち着かず、メンバーの皆さんと顔を合わせることが出来ない日々が続いた。

そこで、急速に普及していた Web 会議ツールである Zoom を利用して親の会を開催することにした。なんとか、初めての Web の親の会を開催できた時は、トラブルも多少あったものの久しぶりにお互いの顔を見て話が出来たことで、参加できた皆さんも我々もうれしい気持ちでいっぱいになった。これまで当然と思っていたつながりが分断され、不安ばかりが大きくなっていく中で、つながりを再確認できたことは、孤立感を感じていたメンバー、そして、サポートをしている我々にとってほっとする感覚をもたらしてくれたと思う。

しかし、Web の限界も早々に感じられるようになってきた。参加はそれぞれの自宅からになってしまうため、参加しにくいメンバーが多かった。どうしても参加したいと思ったメンバーの中には、自家用車の中から参加されていたケースもあった。また、カメラ付きの PC やタブレットを自由に使える環境にない場合は、参加はスマホからになってしまうがその場合は、参加メンバーの顔を同時に見られる数が限られてしまい、普段のグループとの差もずいぶん大きく感じられたようである。

そのため、第二波が落ち着いた時期に久しぶりに対面で親の会を行った際にはやはり、「直接会えるほうがいいよね」と顔を合わせられたことを皆で喜んでいた。

しかし、この原稿を書いている今、東京をはじめとした関東では再び緊急事態宣言が発出され、大阪など関西三府県でも国に緊急事態宣言の要請をしようかとの情勢である。いつまた、当地でも顔を合わせて集まることが出来なくなるかもしれない。

我々は、コロナ禍の中、これまで当然と思っていた絆・つながりが突然失われたように感じるという体験をした。この後の時代、それまでの在り方の良さを理解し続けながらも、その時々出来ることを模索し、新しい可能性も同時に見つけていかなくてはならないだろう。

私は、ほぼ毎日温泉に入っており、ここ1年は伊奈美園近くにある片山津温泉総湯に通っている。8年前に新築されたガラス張りで総湯らしからぬ建物である。柴山湯に面したガラス越しには、ホテルや天候が良い日には白山が眺められる。2階には、おしゃれなカフェがあってお酒も飲めるし、夏の夜には花火がきれいに見える若者の人気スポットになっている。湯には11月あたりから、カモやヒシクイがロシアからはるばる渡来してプカプカと浮かんでいる姿が湯船からガラス越しに見える。

加賀市内にある“鴨池”に飛来してきた白いコハクチョウは、日中、集団で柴山湯近くの田んぼに集まって餌を食べている。遠くから見るとその田んぼだけに真っ白な雪が積もったように見えるほどである。それが2月中旬まで続き、片山津周辺では当たり前の光景になっている。この辺りの農家さん達は、渡り鳥のために何度か田んぼを耕し、農薬を少なめにしてお餌となる虫を採りやすくしていると聞く。心優しい配慮である。

コロナが終息したら、ぜひお立ち寄りを！



園舎を背景に
白鳥が飛び立つ様子（理事長撮影）

今後の予定

- 2月12日（金） 山代出張相談（月定例）
- 2月15日（月） 山代地区子どもを育てる会（月定例）
- 2月16日（火） 子ども支援連絡会（月定例）
- 2月19日（金） 親の会（月定例）

【相談ダイヤル】

月曜日～土曜日

9:00～17:00

0761-75-8889

【山代出張相談】

場所 山代よりみちハウス

日時 毎月第2金曜日

14:00～16:00

連絡は当センターまで♪

令和2年度相談件数統計

	4/1～12/31(延件数)
電話相談	167
来所相談	135
訪問相談	390
心理療法等	89
その他	12
合計	793
児童相談所からの受託による指導	187

相談担当

曜日	一般相談担当		心理担当（要予約）	
	上出	森川	浅田	森井
月	9:00-17:00	9:00-17:00		9:00-17:00
火	9:00-17:00	9:00-17:00		13:00-21:00
水	9:00-17:00	9:00-17:00		13:00-21:00
木	9:00-17:00	9:00-17:00		13:00-21:00
金	9:00-17:00	9:00-17:00		9:00-17:00
土	9:00-14:30	9:00-14:30	10:00-17:00	9:00-14:30
日				

子どもと家庭の悩み 話してみませんか？

児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地

TEL: 0761-75-8889 FAX: 0761-74-1461 E-mail: center@inamien.jp HP: <http://www.inamien.jp>